

標準仕様書

品名 共連れ用インターフェース

型式 M-IF-0V

承認	検印	検印	作成
			

ART 出入管理システム **アート**
株式会社

*** 目次 ***

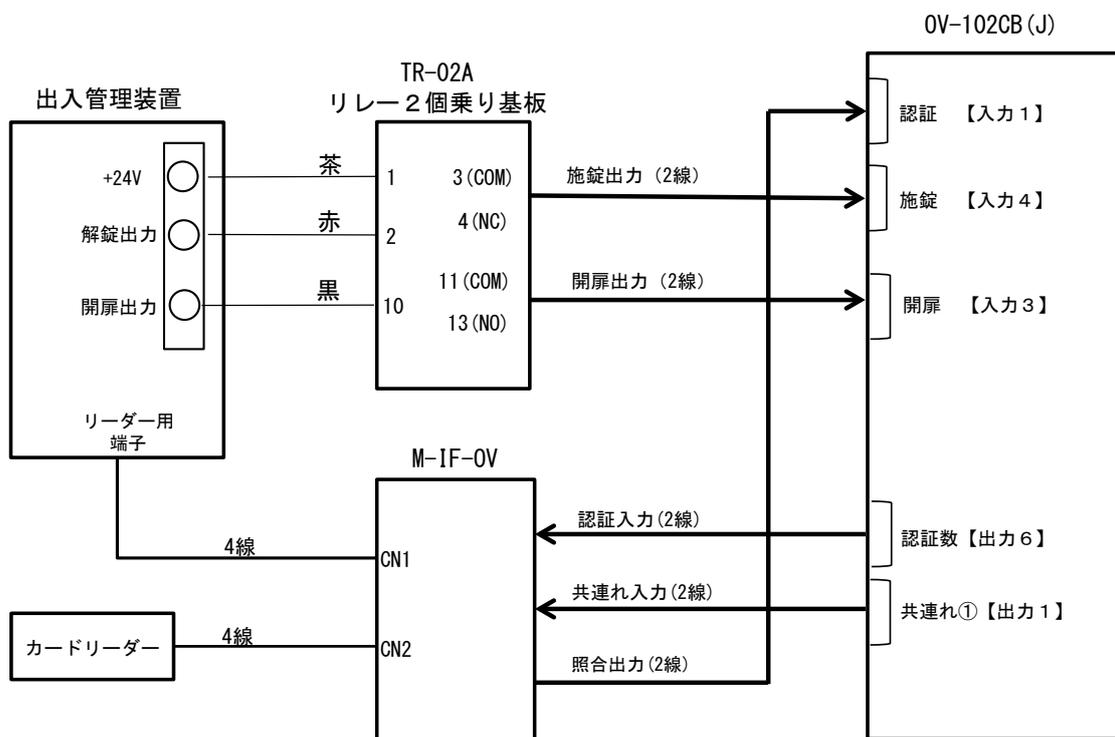
1.	概要	- 2 -
2.	構成	- 2 -
2-1.	基本構成図	- 2 -
3.	機能	- 3 -
3-1.	複数滞在を検知する機能	- 3 -
3-2.	共連れ状態で入室したことを検知する機能	- 3 -
4.	DSW（ディップスイッチ）の設定	- 3 -
4-1.	DSW1（4連）	- 3 -
4-2.	DSW2（8連）	- 3 -
4-3.	DSW3（4連）	- 3 -
5.	通信仕様	- 4 -
5-1.	出入管理装置とインターフェース間の通信仕様	- 4 -
6.	起動時の動作	- 4 -
7.	インターフェースの仕様	- 5 -
7-1.	仕様	- 5 -
7-2.	表示仕様	- 5 -
8.	結線図	- 6 -
9.	改定履歴	- 7 -

1. 概要

本装置 (M-IF-0V) は出入管理装置 (VA-01/02-LAN, WA-01/02/08/16, WFC-08/16) とアキュランス社製の共連れ検出装置 (0V-102CB) を連動させるためのインターフェースユニットです。入室操作時に共連れ検知エリア内に複数滞在の状態を検知したらエラー履歴発生して解錠させません。共連れ状態で入室したらエラー履歴を発生します。

2. 構成

2-1. 基本構成図



1台のインターフェースには共連れ検出装置(アキュランス社製、0V-102CB(J))を1台、接続可能です。

※ OP-Bioが必要です。

※ 解錠出力を反転して施錠出力にするため、リレー基板が必要です。

※ 共連れ検出装置は市販品を購入してください。

3. 機能

カード照合したらインターフェースは出入管理装置よりバイオIDを受け取ります。インターフェースは共連れ器と接点のやり取りを行い、正常状態を示す信号を受け取ったら出入管理装置に照合OKを示し、解錠します。異常状態を示す信号や正常な信号を共連れ器から受け取れなかった場合はエラー履歴を発生します。

3-1. 複数滞在を検知する機能

入室操作（カード照合）したときに、共連れ検知エリア内に複数の人が滞在している場合は、解錠させない機能です。カード照合したらインターフェースから共連れ器に対してパルス信号を送ります。正常な状態であれば、共連れ器は1秒以内に認証数出力をインターフェースに送ります。インターフェースは正常な状態であることを検知して解錠する処理を出入管理装置に送ります。複数の人が扉に滞在している状態であれば、共連れ器は認証数出力をインターフェースに送しません。インターフェースは正常な信号を受け取れないので、異常な状態（複数滞在状態）としてエラー履歴を出す処理を出入管理装置に送ります。扉は解錠しません。

3-2. 共連れ状態で入室したことを検知する機能

①施錠中または閉扉中は共連れ検知しない

出入管理装置からの開扉出力または解錠出力を共連れ器に取り込むことで（リレー基板必須）、施錠中または閉扉中は検知エリア内に入っても共連れを検知しません。

②共連れ状態を検知するしくみ

カード照合したらインターフェースは共連れ器に対して認証数（カード照合した数）のパルス信号を送ります。共連れ器は天井に設置したカメラからエリア内の人数を検知しています。認証数とカメラで検知した人数を比較し、カメラで検知した人数が多い場合は共連れ状態であるとして共連れ出力信号をインターフェースへ送ります。インターフェースは信号を受け取ったら共連れ発生のエラー履歴を出す処理を出入管理装置に送ります。

4. DSW（ディップスイッチ）の設定

4-1. DSW1（4連）



SW1~4 未使用（OFF固定）

4-2. DSW2（8連）



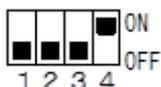
SW1 ON 退室側に設置

OFF 入室側に設置

SW2~8 未使用（OFF固定）

4-3. DSW3（4連）

インターフェースのアドレス設定に用います。扉に合わせてアドレスを設定します。



※ インターフェースは1扉につき1台設置することが可能です。

5. 通信仕様

5-1. 出入管理装置とインターフェース間の通信仕様

通信方式	RS-485 (2線)
ボーレート	19200bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
誤り検出方式	BCC演算方式

6. 起動時の動作

出入管理装置とインターフェースを接続し、出入管理装置からインターフェースに対して電源を供給すると、インターフェースは起動します。出入管理装置から設定データを受信するまで、全てのLEDを橙色点滅させます。設定データを正常に受信すると、橙色点滅は消灯し、待機状態になります。

7. インターフェースの仕様

7-1. 仕様

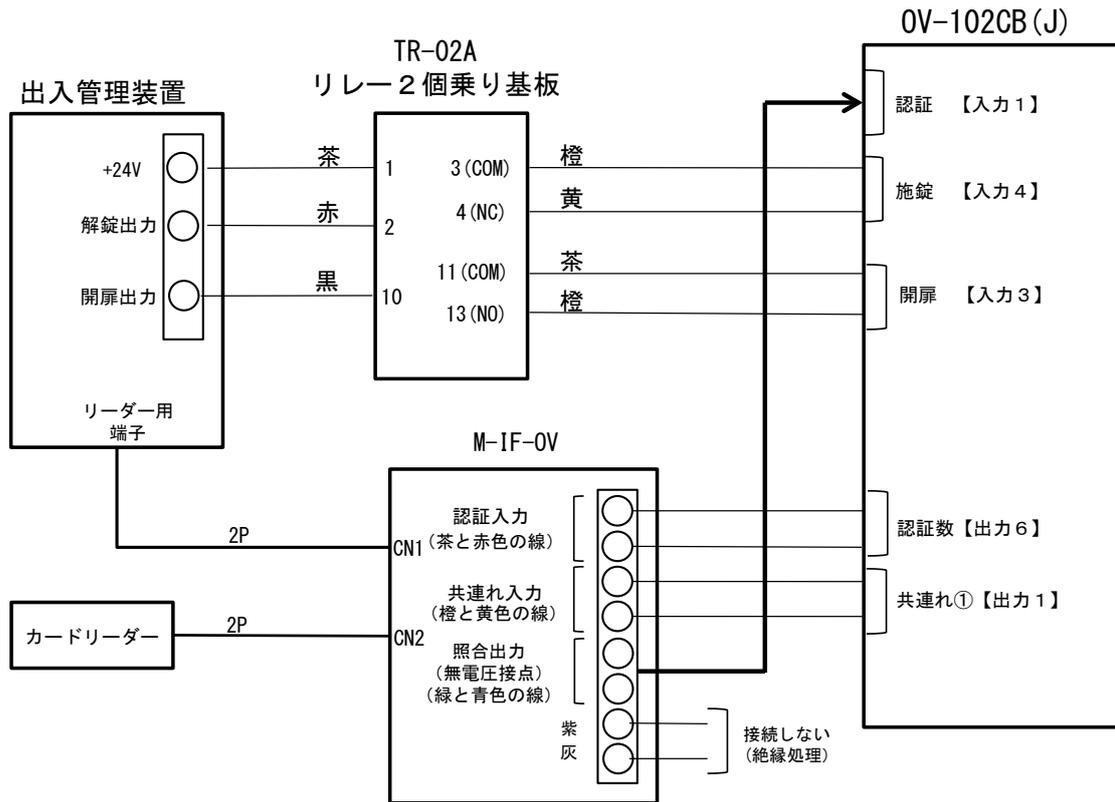
項目	仕	様
構造	外形	別途外形図による
	重量	約0.3Kg
	色	ライトグレー色
電氣的仕様	電源電圧	DC24V±10% (出入管理装置より供給)
	消費電力	2.9W
	制御方式	16ビットマイクロプロセッサ
使用環境	温度	0°C~40°C【結露なきこと】

7-2. 表示仕様

名 称	色	アイコン
電源表示灯	橙	
解錠表示灯	緑 橙 赤	
エラー表示灯	緑 橙 赤	
警戒表示灯 警戒時 ^(※3) 警戒解除、ループ正常時 警戒セット、ループ異常時	緑 橙 赤	

(※3) 警戒表示灯は動作モード4の時のみ使用します。
動作モード4とは外部の警備機器と出入管理装置を連動するモードです。
詳細は出入管理装置の標準仕様書を参照願います。

8. 結線図



注意点

- ① 共通入力器に対して施錠信号を渡すために、解錠出力を反転する必要があります。2個乗りリレー (TR-02A) が必要です。
- ② 上記の例では解錠出力 (有電圧) と開扉出力 (有電圧) をリレーにて無電圧の接点出力 (更に解錠出力は反転して施錠出力にしている) にしています。

9. 改定履歴

図番	内容
S06066-01-18X01	初版